

デジタル版 すいせん図書 第213回 平成23年7月

この図書は全国学校図書館協議会の速報版等を参考にして選定したものです。
このすいせん図書は長野県優良図書研究所であっせんしますので、ご利用ください。

★ すいせん図書 その1 ★

小学校低学年(1・2年)向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
バロン、いっしょにあるこう! (とっておきのどうわ)	大島まや(作) 狩野富貴子(絵) PHP研究所 2011年2月 1,155円	もうどう犬としての仕事を終え、みきちんの家族に引き取られたバロンですが、元気がありません。そんなバロンを暖かく見守るみきちんの家族。やがて、自分もまだ役に立つと知ったバロンは、一緒に歩く人を見つけました。さあ、出発です。 79p・22cm・913
うずらのうーちゃんの話 (ランドセルボックス)	かつやかおり(作) 福音館書店 2011年2月 1,260円	ぼくは、幼稚園からもらってきたうずらに「うーちゃん」と名前をつけ、世話をする。ある日、うーちゃんはネコに襲われ一本足になってしまう。何度も一本足で立つ練習をするうーちゃんを見守るぼく。うーちゃんとぼくの交流が温かい。 32p・24cm・913
おてがみちょうだい (絵本・こどものひろば)	新沢 としひこ(作) 保手浜 孝(絵) 童心社 2011年4月 1,400円	「みんなにはおてがみがくるのに、どうして、ぼくにはないの？」うさぎのピッチが郵便屋さんにとずねます。お手紙がもらいたければ、出せばいいんだよね。自分のしてほしいことを相手にする。そんなあたたかい心に気づきます。 32p・27cm・913
タンポポたいへん!	シャーロットモルトン(作) アーサービナード(翻訳) 鈴木出版 2011年4月 1,575円	大好物のタンポポのはっぱがなくなってしまいました。モルモットの国では大さわぎ。でも1つだけ生きのこっているタンポポが！ さあどうする？ なくなってから気づく大切な物。それを守るために自分のできることは何でしょう。 25p・25cm・933
ゆきやまたんけん (福音館の科学シリーズ)	松岡たつひで(作) 福音館書店 2011年1月 1,260円	雪山を探検しようと、雪上車を作って出発したかえるたち。さまざまな虫や鳥や動物たちの暮らしを見たり、雪で遊んだりして楽しめます。ところが、車がこわれてしまい…。雪のつもった里山を、かえるたちと一緒に冒険してみましょう。 32p・21cm・481
ダメ！(いもとようこのおひさまえほんシリーズ)	くすのきしげのり いもとようこ(作) 佼成出版社 2011年2月 1,365円	大好きなプリンを、くまくんに食べられてしまった、りすくん。「だめ！」と言えない自分が悔しくて…。りすくんは、くまくんにその気持ちを伝える決意をします…。勇気の一言から、新たな関係が生まれることを教えてくれる一冊。 24p・26cm・913

小学校中学年(3・4年)向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
てんせいくん	八束澄子(作) 大島妙子(絵) 新日本出版社 2011年3月 1,470円	てんせいくんちのお寺には、お墓や地獄絵などこわいものがたくさん。でも大好きなユメちゃんが行くって言うからぼくもついていくんだ。しかも、普段は静かだけどいざという時頼りになるてんせいくんがユメちゃんがひかれていますみたいで…。 100p・21cm・913
リタイア犬ポリーの明日 (いのちいきいきシリーズ)	日野多香子(作) 福田岩緒(絵) 佼成出版社 2010年12月 1,365円	盲導犬を引退したリタイア犬ポリー。盲導犬のときの習慣が抜けずに飼い主の裕之も戸惑います。盲導犬としての優しさを持ちながら、変わろうとするポリーの姿に、まわりの人たちは勇気をもらうのでした。盲導犬に対する理解も深まります。 104p・22cm・913
ロンとククノチの木	小原麻由美(作) ラウラストアニョ(絵) PHP研究所 2010年12月 1,365円	仲間からいじめられた時に、自分からまわりのみんなにやさしくすることができますか？ お母さんに「やさしくされるとうれしいわよね」と言われたロンが、まわりの仲間にやさしく接していくうちに、まわりのサルが変わりはじめて…。 111p・22cm・913
アヤカシ薬局閉店セール (偕成社おはなしポケット)	伊藤充子(作) いづのかじ(絵) 偕成社 2010年11月 1,050円	アカシヤ薬局のさくらさんはお客さんが少ないのでお店を閉店することに。するとまねきねこが動き出し、閉店セールのチラシをみたちょっと変わったお客さんが次々とやってきます。ふしぎだけれど、心がぽっとあたたかくなるお話です。 152p・22cm・913
怪盗ブラックの宝物 (福音館創作童話シリーズ)	那須正幹(作) 田頭よしたか(絵) 福音館書店 2011年4月 1,365円	公平の住む町には長い間誰も住んでいない「お化け屋敷」と呼ばれる古い洋館があった。その洋館の解体現場から、昭和の大泥棒怪盗ブラックの暗号が見つかった！公平と同級生たちの財宝さがしの熱い夏休みにワクワクしてみませんか？ 208p・22cm・913

小学校高学年(5・6年)向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
チョコレートと青い空 (ホップステップキッズ!)	堀米薫(作) 小泉るみ子(絵) そうえん社 2011年4月 998円	専業農家の周二の家に、アフリカのガーナから農業研修生としてエリックという青年がやってくる。背が高く黒い肌のエリックさんに最初は戸惑うが、明るい笑顔の勉強熱心なエリックさんはだんだん家族の大切な一員となっていく。 175p・20cm・913
竜の座卓	朝比奈蓉子(作) 金沢まりこ(絵) 偕成社 2011年2月 1,260円	ぼくとつ兄は、病気でたおれて同居することになったじいちゃんと、夏休みに力を合わせて座卓を作った。その座卓にはじいちゃんの強い思いがぎざみこまれていたが、じいちゃんの死後捨てられてしまう。二人の兄弟と祖父との温かい交流を描く。 214p・20cm・913
チビ虫マービンは 天才画家!	エリス・ブローチ(作) ケリー・マーフィー(絵) 伊藤菜摘子(翻訳) 偕成社 2011年3月 1,680円	甲虫マービンは、住まわせてもらっている家の息子ジェームスのために絵を描く。それが有名画家の絵にそっくりだったことから、美術館で、にせの絵画づくりをすることに。やがて連続絵画盗難事件が起こり…。チビ虫と少年の友情、スピード感のある展開が魅力の一冊です。 406p・22cm・933
捨て犬・未来と子犬のマーチ もう、安心していいんだよ ノンフィクション・生きるチカラ	今西乃子(作) 浜田一男(写真) 岩崎書店 2011年4月 1,365円	右目を切られ、後ろ足首もなく捨てられていた子犬の未来。その未来の里親のもとに、次々と人間に捨てられた子犬たちがやってくる。子犬を育てる未来の目を通して、人間社会で一生懸命生きる小さな命のメッセージが伝わる一冊。 120p・22cm・916
じいちゃんが、わすれても (ノベルズ・エクスプレス)	大塚篤子(作) こころ美保子(絵) ポプラ社 2010年12月 1,365円	杏にテニスを教えてくれた大好きな祖父が認知症にかかり、その変化にやさしく対応する家族の姿と、ジュニアクラスに入って周りのレベルの高さに悩む杏の心情が描かれている。少女のさわやかな成長と温かな家族愛に共感しながら読むことができる。 222p・19cm・913

中学生向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
ふあいと!卓球部	横沢彰(作) 小松良佳(絵) 新日本出版社 2011年4月 1,575円	体育館の倉庫の奥、廃部寸前の弱小男子卓球部に勢いで入部した拓。「目指せ!体育館」を掲げ練習を重ねていくが、どんどん居場所を失い、自信も失くしていく。しかし、女子卓球部との対決を通し、本物の卓球部へと向かっていく青春物語。 190p・20cm・913
フォスターさんの郵便配達	エリアセル・カンシーノ(作) 猫野ぺすか(絵) 宇野和美(翻訳) 偕成社 2010年11月 1,470円	うそばかりつき、学校もさぼりがちのペリーコだが、村でただひとりのイギリス人フォスターさんの郵便配達を引き受けることで自分の殻を破り、世界を広げていく。変りたいと願うペリーコと、それを助けるまわりの大人の姿に心をうたれる。 254p・20cm・963
自由ってなに?人間はみんな 自由って、ほんとう? (10代の哲学さんぽ 2)	アニサ・カルテル(作) モルガン・ナヴァロ(絵) 伏見 操(翻訳) 岩崎書店 2010年11月 1,365円	「自由ってなに?」時々とても知りたくなる言葉、「自由」。有名な哲学者の言葉をたどりながら、人はどう生きればよいかを深く考えさせてくれる一冊です。さまざまな知識も身につき、しかもイラストが楽しいのであつという間に読了できます。 92p・20cm・100
極北に生きる人びと —アラスカの詩 (アラスカの詩)	星野道夫(作) 新日本出版社 2010年12月 1,575円	著者がアラスカで出会った人達のことを綴った随筆をまとめた本。人と人との関わりが温かく優しく、登場する人が皆、古くからの知り合いのように思えてくる。文章にあわせて載せられた筆者の写真が秀逸で、アラスカの風を運んでくれる。 128p・14cm・295
ふかいことをおもしろく —創作の原点	井上ひさし(作) PHP研究所 2011年4月 1,155円	故井上ひさしさんの生い立ちや仕事に向かう姿勢などがギョッとつめこまれ、井上ワールドの入門書となる一冊。未曾有の震災を経験した今だからこそ、巻末の「100年後の皆さんへのメッセージ」を読み、100年後を考えて今を過ごしたいと思う。 119p・21cm・914

★学習図書★

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC・教科
どうしてそんなかお?鳥 (絵本図鑑)	有沢重雄(作) 日橋一昭(監修) 今井桂三(絵) アリス館 2011年1月 1,470円	みんな顔がある。大きなくちばし、りっぱなとさか…。みんなそれぞれ違う。どうしてそんな顔? その秘密について、絵と吹き出しや説明でせまる本。おわんのような丸い顔のフクロウ・ペリカンの大きなのどぶくろ…など、秘密がたくさん。 32p・21cm・488・理科・国語・総合
みらくるミルク (たくさんのふしぎ傑作集)	中西敏夫(作) 米本久美子(絵) 福音館書店 2011年3月 1,365円	ミルク利用の始まりや、牧場の様子、牛のからだのこと、ミルクの加工品や作り方などミルクのことが分かりやすい文と、柔らかいタッチの絵で紹介されている。わたしたちにとって身近なミルクだが、「へえ。」と思わされ、面白い。 40p・26cm・642・生活
自然に学ぶものづくり図鑑 —かたち・しくみ・動き繊維 から家電・乗り物まで	赤池学(監修) PHP研究所 2010年12月 2,940円	フクロウの羽とカワセミのくちばしをまねた新幹線の防音装置、竜巻のしくみを利用した掃除機など、動植物や自然現象の特徴や性質をヒントに開発されたものづくりの技術を紹介。自然を見直すきっかけにもなることでしょう。 63p・29cm・460・理科
語り伝える東京大空襲<第3巻> 10万人が死んだ炎の夜 (ビジュアルブック)	早乙女勝元(監修) 東京大空襲戦災資料 センター(編集) 新日本出版社 2010年11月 2,310円	わずか2時間ほどで百万人もの住居を焼きつくし、十万人もの生命を奪った東京大空襲はどのようなものだったのか。疎開先から東京の家に戻った翌日に空襲にあった小学生の様子など、当時の子どもや女性の立場から空襲の実態を紹介。 40p・26cm・210・社会
天気の基本を知ろう! (天気でわかる四季のくらし)	日本気象協会(作) 新日本出版社 2011年3月 2,940円	日本の四季はなぜあるの、雲はなぜできるの、台風の原因や影響、天気予報ができるまでなど、天気の基本がわかる一冊。写真や図、グラフなどの資料を使っていてわかりやすい。異常気象や温暖化、自然エネルギーなどもあり、興味深い。 31p・29cm・451・理科